

ドイツの社会と文化 (その2)

2単位 2年(後期)

ヘルベルト ウォルフガング・講師/人間文化学科

【授業目的】 授業の目的は社会学的な想像力を身につける事。ドイツ、オーストリーの社会問題と趨勢を取り上げる。ライフスタイル、価値観の多様化、若者文化、移民社会、高齢化問題、(生と死の)哲学、オーストリー、ドイツの社会学的、文化的に興味深い事象を紹介します。

【授業概要】 ドイツ、オーストリーの社会の時事問題

【履修上の注意】 受講者にレポートを発表させます。居眠り厳禁

【到達目標】 様々な社会的なテーマ、問題について好奇心を持つようになり、視野を広げること。

【授業計画】

1. ドイツとオーストリーの相違と特徴
2. オーストリーの歴史、ケルト人、ローマ時代から十九世紀まで
3. 20. 21世紀のオーストリー:政治、経済、社会、文化
4. オーストリーとEUにおける移民政策
5. EUの統合と組織犯罪の在り方
6. 世俗化したドイツ、オーストリーにおける宗教
7. 若い世代と宗教:精神世界、ニューエイジ思想、折衷主義
8. ドイツ社会と東洋思想:インド哲学、仏教、禅との出会い
9. bodycult と bodyart/body modification: 身体変更/改造、リストカット症候群、体の社会学
10. 高齢社会、その問題と課題
11. 西洋哲学での生と死の見方
12. 安楽死をめぐる
13. ホスピス、その歴史と理念
14. 緩和ケア、特にスピリチュアルケアについて
15. 纏めと質疑応答
16. 「ソーフィの世界」ドイツ語圏での哲学ブーム

【成績評価】 出席、レポート、発表、授業への取り組み状況などをもとに総合的に評価する

【再試験】 あり。

【教科書】 教科書、教材は要りません。参考書は授業を進めながら推薦します。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218907>

【連絡先】

⇒ ヘルベルト (088-656-7145, wolf@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月曜日16.15h-17.30h (総合科学部1号館1階N06))

【備考】 授業は日本語で行われます。